

2022 年 1 月 13 日

改訂 4 月 6 日

感染制御部

ID NOW™ (新型コロナウイルスの遺伝子検査器) のご案内

当院では新型コロナウイルス遺伝子を等温核酸増幅法で検出する小型機器：ID-NOW を 2 台設置しております。測定時間が 1 検体につき 13 分と短時間で検出でき、かつ PCR 検査と同等の感度特異度があります。基本的には器械の操作は担当医師にお願いしております。器械設置場所の壁に操作方法についての手順フローを貼っておりますが、使用前には下記動画での手順確認を強く推奨いたします。動画視聴後に、壁の手順フローで確認しながら実施してください。

***動画視聴をせずに、現場の壁の手順フローのみを参考にした際の検査失敗例が多数報告されております。**

設置場所：

平日日勤帯は、ICU と内科外来 H16 診察室の前室（内科処置室の隣） **トリアージ棟**

休日夜間は ICU と **救急外来**

検体：鼻咽頭ぬぐい液のみ

オーダー：鼻咽頭新型コロナウイルス RNA 定性（PCR）

***電子カルテへの結果の反映は翌日以降になります。**



①業者ホームページ上のデモンストレーションビデオ（8 分間）：こちらの視聴は必須です

<https://www.globalpointofcare.abbott/ja/product-details/id-now-covid-19.html>

「ID NOW」で検索

約 214,000 件 (0.40 秒)

<https://www.globalpointofcare.abbott/ja/id-now-covid-19>

ID NOW™ 新型コロナウイルス 2019! 迅速ポイントオブケア診断

ID NOW™ は、迅速性と正確性の両方を兼ね備えた感染症遺伝子検査システムです。ID NOW™ 新型コロナウイルス 2019 デストでは、13 分以内に結果が得られ、初診時にすぐに診...

<https://www.globalpointofcare.abbott/ja/product-details>

ID NOW™ インストルメント - Abbott Point of Care

ID NOW™ は、感染症の定性的な検査を実施するための、専用機器を使用する迅速検査シス...

1.5 分で、検査のおおよその流れがイメージ可能になります。詳細な使用方法の説明はありません。

デモンストレーションビデオ（8 分間）
2 倍速モードでも OK（4 分間）
器械の使用前に視聴することを強く推奨します。

操作方法1

準備、検体採取:救急外来 第5診察室

- ・ オーダ: 鼻咽頭SARS-CoV-2(PCR)依頼
採取指示票を出力する
- ・ 試薬使用簿を記入する
- ・ 綿棒・試薬・滅菌試験管を準備する

準備物品



- ・ 履き替え用手袋
- ・ ゴミ袋

1. 検体採取した綿棒をスピッツに立てる
2. 外側の手袋を脱ぎ、手指衛生して新しい手袋をはく
3. 機器画面にタッチ: テスト実行 → COVID-19 → OK
4. 患者IDを入力(採取ラベルをスキャナーで読み取る) → OK



1

カバーを開ける



2

袋1からテストカートリッジを取り出し、同じ色のホルダーにセットする



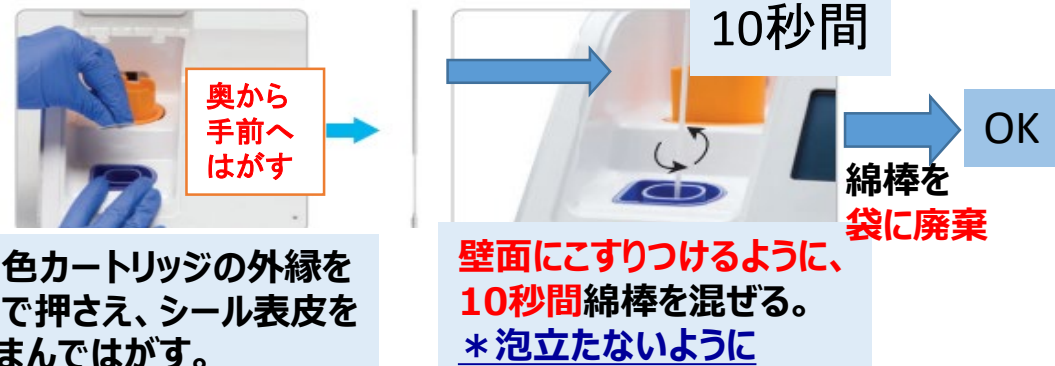
3

袋2からサンプルカートリッジを取り出し、PeI側の透明シールを半分はがし、同じ色のホルダーにセット → 3分間待つ



この時間に検体を採取する場合は、機器操作の前に外側の手袋交換!

4



青色カートリッジの外縁を
指で押さえ、シール表皮を
つまんではがす。

壁面にこすりつけるように、
10秒間綿棒を混ぜる。
*泡立たないように

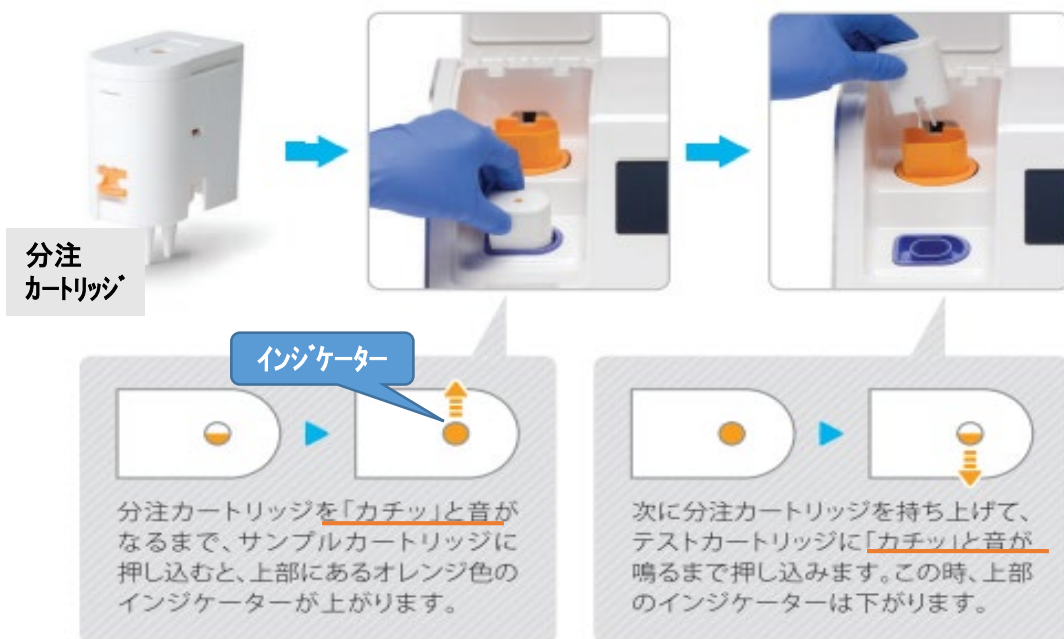
ココから
10分以内に測定を開始する

操作方法2

サンプルカートリッジのセットから10分以内に測定を開始する

5

分注カートリッジで、サンプルカートリッジからテストカートリッジに溶液を分注する



最重要ポイント

* 白色カートリッジを押し込むと、「バキバキバキ」と3回続けて音がなり、**一気に押し込む。**

(一気に押し込めないと「無効」になる可能性があります)

* 必ずインジケータが下がっていることを確認し、背面ランプが消えたらカバーを閉める。

6

カバーを閉じると自動的に測定が開始される
(画面の指示から**30秒以内に閉める**)

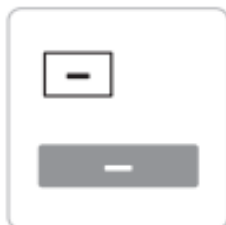


10分間

操作方法3

7

テストが終了すると、画面に判定結果が表示されます。

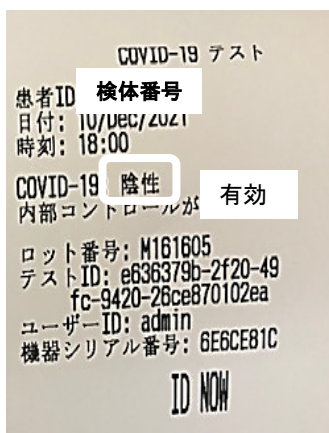


陽性の場合

* 必ず感染制御部へ連絡

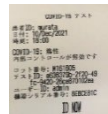
「印刷」を押し、2枚印字する

- ・電子カルテ入力用
- ・採取指示票貼り付け用



採取指示票に結果を貼り、**細菌検査室へ**

採取指示票



8

テストカートリッジと分注カートリッジを接続したまま機器から取り外し、サンプルカートリッジに押し込んで接続し、**綿棒を入れた袋に入れ密封して廃棄する。**



検査後、**感染防止のため**

必ず手袋交換してエタノールで清拭

外側 → 装置内

特に陽性時は、念入りに消毒



「無効」の対応

➡粘性の強い検体など原因が検体に由来する場合は、**再採取**して再検

➡短時間で無効となり操作ミスが考えられる場合、
同じサンプルカートリッジを使用し再検可能

- ① **テストカートリッジ**と分注カートリッジを接続したまま機器から取り外し破棄する
- ② **サンプルカートリッジ**を慎重に機器から取り外し、内容液がこぼれないよう直ちに置く



- ③ 通常の手順で開始する。
サンプルカートリッジを挿入する場面で、**再度使用**
(3分間のウォームアップ後、画面上の「OK」ボタンを押し、分注カートリッジを押しこみ、抽出液を吸い上げ**テストカートリッジ**にセットし押し込む)

＜その他の注意点＞

- 直ちに測定できない場合、**室温で1時間**保存可能
- 鼻腔に粘液がある場合は、太い綿棒で除去した後に、**鼻咽頭ぬぐい液**を採取する
- ログイン必要時は、ID(admin)とパスワード(admin) をスキャナーで読み取る
- 機器の電源は常にON(予定停電前は切る)
- 試薬在庫チェック、メンテナンス(検査部)